



## 特別企画「松本達郎によるご進講と天覧化石」の開催

### 概要

故・松本 達郎（まつもと たつろう）九州大学名誉教授（1913.11.02-2009.02.07）が、昭和 55 年 5 月 8 日に昭和天皇へご進講された際に用いた化石標本が、九州大学所蔵の標本群の中から再発見されました。

平成 25 年 5 月 10 日（金）に、九州大学総合研究博物館にて、この貴重な「天覧化石」の実物を、松本直筆の標本ラベルやご進講の草稿とともに初めて一般公開し、研究者が解説します。

### 背景

昭和 55 年、生物学者としても名高い昭和天皇へのご進講役として、アンモナイト化石の研究で大きな業績をあげ、日本学士院賞を受賞した松本達郎九州大学名誉教授に白羽の矢が立ちました。この光栄に浴した松本は、単なる講話ではなく、「実証の科学」である古生物学にふさわしく、「実物の化石標本」を昭和天皇に直々にご覧に入れながら説明しようと思い立ちました。そして、当日、彼の研究の中で特に重要なアンモナイト化石数点を厳選して皇居・竹の間に持参し、ご進講に臨みました。

総合研究博物館の調査により、実際に昭和天皇にご覧に入れた標本が、「天覧」と記された松本直筆のラベルやその他の資料とともに再発見されました。

### 内容

「地質の日」（5 月 10 日）および「開学記念日」（5 月 11 日）にちなみ、九州大学総合研究博物館内で「天覧標本」の実物を、初めて一般公開し、研究者による解説を行います。同時に、「化石化のメカニズムを探る」というテーマで研究中の化石標本を、実際に手で触れることができるかたちで展示します。

日時：平成25年5月10日（金） 10:00～16:30

解説：10:00～、11:30～、13:30～、15:00～（全4回、各回約30分）

※解説の内容は4回とも基本的に同じものです（英語対応可）。

場所：九州大学箱崎キャンパス 旧工学部本館3階

九州大学総合研究博物館 常設展示室（電話：092-642-4252）（場所などについて）

※事前申込不要、入場無料、定員なし

### 効果

再発見された「天覧標本」は、学術的に重要なばかりでなく、20 世紀の科学史および昭和史を語る上で貴重な物証という別の意義も併せ持ちます。今回、「天覧標本」の実物を初めて一般公開することによって、「歴史の波に洗われた実物のみが持つ無言の迫力」を体感していただければ幸いです。

### 今後の展開

九州大学の長い歴史の中で教育・研究に用いられた学術的特色のある標本・資料の大半は、現在、各部局に保管されており、その数は 750 万点を遙かに上回る膨大なものです。今回の天覧化石も、大学院理学研究院が保管する松本達郎化石コレクション約 8,000 点のうちのごく一部に過ぎません。

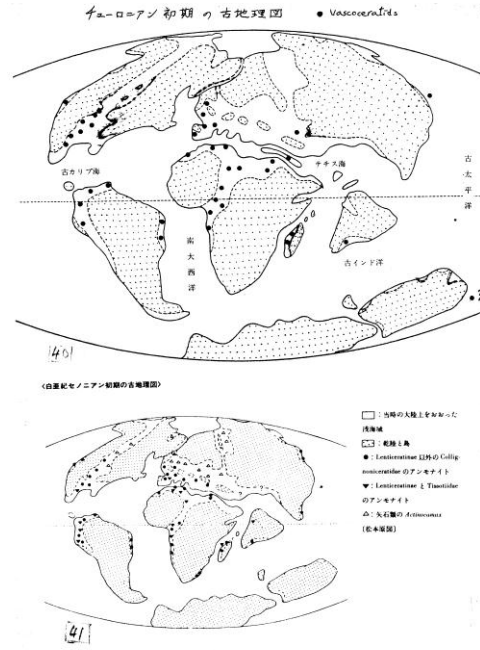
大学の標本・資料は、当面の研究が終われば用済みというわけでは決してありません。古い標本を新しい視点から見直した結果、学問のブレイクスルーに導く新発見がもたらされた例は枚挙にいとまがありません。「大学所蔵の標本・資料は、常に『現役』である」という世界共通の認識のもとに資料を整備し、その価値や意義を学内外に発信してプロの研究者や学生のみならず市民の知的ニーズに応えるという大学博物館の役割の一端を、一般市民の皆さまに理解していただければ大変幸いです。

■画 像

報道機関からご要望があれば、九州大学総合研究博物館が著作権を所有・管理する下記の画像ファイルを提供します。



故・松本達郎・名誉教授近影（1977年）



ご進講の草稿\_約9、000万年前の古地理図



天覧アンモナイト化石（約1億年前；11cm）



天覧と朱記された左標本の松本直筆ラベル

【お問い合わせ】

九州大学総合研究博物館 教授 前田 晴良（まえだ はるよし）

電話：092-642-4296

Mail：[maeda@museum.kyushu-u.ac.jp](mailto:maeda@museum.kyushu-u.ac.jp)

【中立的な立場からコメントをいただける専門家】

国立科学博物館 主任研究官 重田 康成（しげた やすなり）

電話：029-853-8199

Mail：[shigeta@kahaku.go.jp](mailto:shigeta@kahaku.go.jp)